

## 医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

大阪はびきの医療センターでは、倫理審査委員会および院長の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

大阪はびきの医療センター 耳鼻咽喉科

### 【研究課題名】

呼吸機能低下を認めた内視鏡下鼻副鼻腔手術症例の検討

### 【研究期間】

承認日～2023年3月31日

### 【研究の意義・目的】

鼻副鼻腔疾患には気管支喘息をはじめとした様々な呼吸器疾患が合併することがあり、特に当センターでは呼吸機能低下を認める方に対し内視鏡下鼻副鼻腔手術を行う機会が多くあります。術前検査で呼吸機能低下を認めた症例について、特徴や周術期経過について検討する必要があると思われれます。

### 【研究の内容】

#### 1. 研究の対象となる方

当院耳鼻咽喉科で2018年1月から2020年12月までに当科で内視鏡下鼻副鼻腔手術を受けた方

## 2. 研究に用いる試料・情報

診療の過程で取得されたカルテ番号、生年月日、イニシャル、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査など)、これまでの治療歴、既往歴、合併症、内服歴等。

なお、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

## 3. 研究の方法

カルテ内の検査結果や手術記録から後方視的に情報を取得します。呼吸機能低下を認めた症例と呼吸機能正常の症例について、年齢や手術術式などを比較します。呼吸機能低下を認めた症例について、その合併症や周術期の問題点について検討します。

### 【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

### 【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

### 【研究責任者／研究統括者】

大阪はびきの医療センター 耳鼻咽喉科  
川島佳代子

**【連絡・問い合わせ先】**

大阪はびきの医療センター 耳鼻咽喉科 川島佳代子  
〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの 3-7-1  
電話:072-957-2121、FAX:072-957-8002

**【本研究に関する問い合わせ窓口など】**

○問い合わせ窓口

大阪はびきの医療センター 耳鼻咽喉科 川島佳代子  
〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの 3-7-1  
電話:072-957-2121、FAX:072-957-8002

○ご意見・苦情窓口

大阪はびきの医療センター 耳鼻咽喉科 川島佳代子  
〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの 3-7-1  
電話:072-957-2121、FAX:072-957-8002